

運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 開催日時・場所

日時	令和 6年 1月 12日 13時30分 ~ 14時	場所	医師会館理事長室(オンラインと併用)
----	---------------------------	----	--------------------

3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
木下 均	地域住民の代表者	中川連合町内会 会長
石井 広美(zoom)	当該サービスに知見を有する者	中川地域ケアプラザ 所長
堀元 隆司(欠)	当該サービスに知見を有する者	堀元歯科医院 院長
小林 雅子(欠)	当該サービスに知見を有する者	小林クリニック 副院長
栗栖 純穂	当該サービスに知見を有する者	センター北 ユア クリニック 院長
菅井 直樹(zoom)	市の職員又は地域包括支援センターの職員	都筑区役所 高齢者支援課係長
深澤 立(欠)	当該サービスに知見を有する者	都筑区医師会代表理事
石濱 千秋	事業所職員	管理者
宮島 佳代	事業所職員	統括管理者
青柳 かおる	事業所職員	副管理者
羽後 みゆき	事業所職員	介護主任
後藤 瑞佳	事業所職員	事務
上條 由佳	事業所職員	事務

4. 活動状況報告

別紙(様式2~4)のとおり

(裏面あり)

5. 活動状況に関する評価・意見・要望

<p>【平均要介護度の変化について】 ・平均要介護度が4.18から4.00になったことについての質問あり、平均介護度が下がった理由について説明。 介護保険の更新において、要介護5→2 4→2へと、身体状況がよくなり介護状況が軽快したためであることを説明。 良くなっていることは、とても良いと思う</p> <p>【インシデント・アクシデントについて】 インシデント、アクシデントは忙しいとどうしても発生してしまうが、確実にというところしかないかな、と思う。気をつけて、頑張してほしい</p> <p>【事例報告について】 よく頑張った。95歳、上出来だよ。本人の命だからね。 突然亡くなって家族もスタッフもショックだったと思うが、幸せに過ごせて良かったと思う。</p>
--

6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

<p>【平均要介護度の変化について】 軽快に向かったことを、評価してくれる制度があると良い</p> <p>【インシデント・アクシデントについて】 基本に忠実にということをお忘れてはいけません。気をつけていきたい。</p> <p>【事例について】 これまで通り、ご利用様に誠実に向き合っていきたいと思う。残されたご家族に対してグリーフケアも引き続き行っていきたいと思う</p>

7. 地域からの情報提供

「縁(ゆかり)ハウス」(横浜市親と子の集いの広場補助事業)の紹介

8. その他特記事項

特になし

※ 会議は原則事業所内で行ってください。
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

活動状況報告書(看護小規模多機能型居宅介護)

1. 基本情報

事業所名	都筑区医師会ナーシングホーム		
所在地	横浜市都筑区牛久保西1-20-21		
担当者	石濱 千秋	連絡先	045-913-6321
運営法人	一般社団法人 横浜市都筑区医師会		

2. 登録者の状況 令和 5年 12月

登録者数(12月 31日現在)	女性 14名	男性 5名	計 19名					
要介護度	要支援1 0名	要支援2 0名	要介護1 0名	要介護2 4名	要介護3 3名	要介護4 0名	要介護5 11名	申請・区変中 1名

3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者(匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	8	0	16	1 (訪問看護)
イ	22	1	17	1
ウ	15	0	20	1
エ	12	0	27	5
オ	9	0	22	9
カ	1	0	5	6 入院:12/7-12/30
キ	12	11	0	33 終了:12/14
ク	13	0	22	5
ケ	11	7	3	2
コ	7	0	22	5 入院:12/28-1/4
サ	27	23	6	3 死亡:12/28
シ	11	3	16	6
ス	23	19	16	67
セ	10	2	15	19 入院:11/22-12/4
ソ	12	2	33	0
タ	8	0	36	4
チ	3	0	8	2 開始:12/11~
ツ	28	27	0	0
テ	0	0	10	6 開始:12/13~
ト				
ナ				
ニ				
ヌ				
ネ				
ノ				
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	12.21	5.00	15.47	平均要介護度 4.05

(裏面あり)

4. 運営方針

事業所の目標	1. 育成計画を改善し、より良い計画にブラッシュアップする 2. 具体的な行動ができるように災害時のマニュアルを見直す 3. 職員のACPの理解を深め、実践できる 4. 他部門との一体化を強化と新規雇用で職員を確保し、登録者数を増やす
目標に向けた具体的な取組	1-1) 職員にヒアリングをし育成計画の課題を明確にして、計画に反映する 2-1) 災害時の具体的な行動を考え、マニュアルを見直し、作成する 3-1) ACPの研修会の開催 4-1) 職員間の伝達、職員の異動、新規雇用を進める

5. 活動報告

<p>【11月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会・管理者会議・運営推進会議・運営会議・喀痰吸引会議・身体拘束/虐待報告検討会議・BCP策定会議・感染症対策委員会 ・アート活動「Kitpas×K-ART」(11/17) <p>【12月】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生委員会・管理者会議・運営会議・喀痰吸引会議・身体拘束/虐待報告検討会議・感染症対策委員会 ・感染症・食中毒実地訓練(嘔吐時の対応)(12/15) ・アート活動「Kitpas×K-ART」(12/15) ・クリスマス会(12/22) <p>毎週水曜日:ヘルパー/看護会議(内2回合同会議/カンファレンス) 毎週木曜日:一体化会議</p>
--

6. 事故・ヒヤリハット報告

内容	経管栄養用の延長チューブを別の利用者に使用した
改善策	使用する際は、名前を確認する
内容	胃ろうからの薬注入の際、接続が外れた
改善策	薬注入を実施する際は、接続部を目視しながら注入をする

7. 地域への情報提供

コロナ感染者の増大への注意喚起

8. その他特記事項

--